広報 くろまつない

Public Information kuromatsunai No.496
9
令和元年

主な内容

ビーフ天国まるっと黒松内２０１９
黒松内町成人式

the most beautiful villages in japan

○表紙写真　ビーフ天国まるっと黒松内２０１９

KUROMATSUNAI BEEF PARADISE

ビーフ天国 まるっと黒松内 2019

「ビーフ天国まるっと黒松内２０１９」が７月27日、28日の２日間で行われ、両日合わせて約１万人が来場しました。

前夜祭

ビーフ天国のはじまりはやっぱり「黒松内音頭」。

嘉門純樹先生を先頭に、子供から大人まで約１５０人の踊り手が１区から役場裏駐車場までを練り歩き、沿道には多くの観客が集まりました。

前夜祭会場では手打ちそばや焼き鳥などの出店が並びました。

会場内の特設ステージでは「まっちゃま」さんのものまねショーや「彩川さくら」さんによる歌謡ショーが行われ、前夜祭を盛り上げてくれました。

会場内には町民有志の手で作られた多くの行灯が並び、個性豊かなデザインと幻想的な光は多くの来場者を魅了していました。

前夜祭の最後を締めくくった「ファイヤーワークスタイム」では、約５００発の色とりどりの花火が夜空を彩り、１発打ち上がるごとに会場内からは大きな歓声が上がりました。

ビーフ天国前夜祭は翌日の本祭を待ちきれないと言わんばかりの大盛況となりました。

▲会場内は焼肉のおいしそうな匂いと、たくさんの笑顔で満たされていました。

本祭

本祭当日は快晴となり、まさにバーベキュー日和といった天気で、開場とともに多くの来場者が訪れ、会場の町営野球場はすぐに満員となりました。

来場者たちは最高の天気の下、家族や仲間と黒松内牛のバーベキューを思う存分楽しんでいました。

会場内では多数の屋台が出店したほか、バックネット側に設営されたステージでは、黒松内を中心に活動する「マングルーブ」によるバンド演奏、哺乳瓶での牛乳早飲み競争「しゃっこいミルクをチューチュチュチュ」、大食い女王の「アンジェラ佐藤」さんとの黒松内ビーフカレーの大食い対決などが行われました。

また姉妹市の愛媛県西予市からの訪問団も来場しました。

昨年7月に西日本を襲った豪雨から1年。本祭会場ステージで「頑張るけん！西予市！」の横断幕を掲げ、復興支援へのお礼と復興に向けた取組みが進められていることを報告してくれました。

▲哺乳瓶で牛乳早飲み競争

▲黒松内ビーフカレーの大食い対決

▲「マングルーブ」によるバンド演奏

▲北海道大学よさこいチーム「縁」が演舞を披露

▲ビーフくん、ミルクちゃんももちまきに参加

▲西予市からの訪問団も来場

二十歳の門出
黒松内町成人式

お盆シーズンの帰省に合わせた黒松内町成人式が8月10日に町民センター大ホールで行われ、新成人23人が参加しました。

内山教育長から「若い時にこそ失敗を恐れないでください。困難な道を乗り越えたとき、その成し遂げた喜びは必ずや自分の自信になります。」と式辞が送られました。

新成人を代表して矢木田友希さんが誓いの言葉を述べ、成人したことへの自覚と、幸福と平和のために共に助け合い、力を尽くしていくことをしっかりとした眼差しで宣誓しました。

▲誓いの言葉　矢木田友希さん

▲アンジュ・ド・フロマージュでの講演の様子

式典終了後、昼食会のため、アンジュ・ド・フロマージュに会場を移しました。

昼食会で新成人たちは、久しぶりに顔を合わせた同級生との会話を楽しんでいる様子でした。

昼食会後、アンジュ・ド・フロマージュ代表の西村聖子さんの講演があり、「若いうちに色々な経験をしてください。そして本をたくさん読みましょう。本には知識と色々な人との出会いのツールが詰まっています。」と新成人に向けて話してくれました。

成人式出席者（敬称略・順不同）

磯部美穂奈　今田紗和　田中瑞希　加藤政人　木村紫臣　木村奏太　後藤永遠　津谷正教　永井綺良梨　中嶋祐貴　中山広大　佐藤彩花　上田春夢　庄子健太　滝田敬吾　花岡優音　瀧澤巧人　竹鼻知香　藤原優華　渕野彩夏　森本崇雅　矢木田友希　山田静葵

金子 誠さんに 無期限アユ遊漁承認証を贈呈！

北海道日本ハムファイターズの元キャプテンで現打撃チーフ兼作戦コーチの金子誠さんに、黒松内町と朱太川漁業協同組合が無期限のアユ遊漁承認証を贈呈しました。

贈呈式は、今シーズンのアユ釣り解禁日直前の6月29日、同漁協菅原正久会長と鎌田町長が札幌ドームに赴き、行われました。

アユの友釣りが趣味で昨年から本町を訪れている金子コーチが、朱太川はアユ稚魚を放流していない国内でも貴重な河川であり、アユの味がとてもおいしい事など本町についてPRしてくれた事への感謝の気持ちとして行ったものです。

金子コーチは、自身が出演するラジオ番組で、遊漁承認証の贈呈について「この10数年で一番嬉しい」と話してくれました。

今シーズンは解禁日の7月1日に合わせて来町後、試合の合間の移動日を利用して、すでに4回本町を訪れています。

金子コーチには今後も道内外で様々なメディアを通して黒松内町をPRしていただきます。

▲無期限アユ遊漁承認証贈呈の様子

▲「朱太川のアユは身がほくほくしていて、おいしい」との感想を話してくれました。

アユ生息数調査速報

7月下旬に実施した生息状況調査の速報によると、今シーズンは過去最高の57万匹が生息していると推計されました。

昨年は、一昨年の台風の影響もあり、アユの生息数が激減しましたが、今シーズンは資源が順調に回復していると思われます。

ふれあいタウン情報

8/2（金） 魚に貝にエビもいたよ！ こども遊び塾 生き物探検

夏休みを向かえた町内の子供たちを対象とした「こども遊び塾・生き物探検」が朱太川で行われ、16人が参加しました。

当日は最高気温32℃でとても暑い日でしたが、川に入った子供たちはひんやりとした水の冷たさに気持ちよさそうな様子で水中を箱メガネでのぞきながら、タモ網を使って朱太川に生息するヤマメやカワシンジュガイ、スジエビなどを捕まえて、特徴などを観察していました。

イベントの最後に捕まえた生き物を川に帰し、子供たちは「元気に育つんだよ。」と名残惜しそうに見送っていました。

8/3（土） 自然、グルメ、夏を満喫 くろまつない グルメフットパス

昨年開催され、参加者から好評だった「くろまつないグルメフットパス」が今年も開催されました。

夏らしい陽気の下、町内外から22人が参加。

森林公園コース、寺の沢コースの合計約5㎞を歩き、各休憩スポットで和菓子や豆腐、チーズなど本町のグルメを満喫しました。

ゴール地点では、味付きの親鳥と若鳥のバーベキュー、本町の地酒を楽しみました。

今回初めて参加したという女性は「フットパスもグルメも楽しめて、満足です。」と話してくれました。

8/6（火） 牛さんにタッチ！ 第8回黒松内町酪農畜産祭り

第8回黒松内町酪農畜産祭りが黒松内家畜共進会場で開催されました。

会場内では牛のジャッジングコンテストが行われ、来場者は町内で立派に育った牛の体つきなどをじっくり見比べ、思い思いに順位を予想していました。

また、黒松内保育園に通う園児たちも来場し、牛と触れ合ったり、展示された農作業用の機械に乗って記念撮影をしていました。

初めて牛をなでた園児は、「初めて触ったよ。モフモフしてた。」、「かわいかった。」と大喜びの様子でした。

8/7（水） 病院の仕事を体験しよう！ 夏休みこども病院探検

町内の小学生を対象とした「病院探検」がくろまつないブナの森診療所で開催され、小学生29人が参加しました。

昼食を終え、白衣に着替えた子供たちは地域実習に来ている札幌医科大学の学生と一緒に病院内をまわり、軟こうに見立てたジャムを容器に詰めたり、注射と点滴の模擬体験をしたり病院の仕事を体験しました。

参加した女の子は「色々な仕事が体験できて全部楽しかったです。将来は看護師さんになりたいな。」と笑顔で話してくれました。

くろまつないブナの森診療所　リレーコラム

「診察室から」　第9回　野村　健次　医師

歯の話

皆さんこんにちは、今回は歯のお話です。

皆さんは歯を磨いていますよね？私は最近になって磨き方を変えてみました。イエテボリテクニックという手法です。

イエテボリはスウェーデンの都市名です。そこで研究された歯磨き方法です。とても簡単な方法ですので試してみると良いと思います。

フッ素入り歯磨きで十分に歯を磨いた後、口に残った泡を吐き出すだけです。口をゆすがないのです。出来れば2時間は口にものを入れなければ完璧です。フッ素が歯の表面に強靭な皮膜を作りばい菌が産生する酸を寄せ付けないというものです。

この手法が広がりスウェーデン人の虫歯は大幅に少なくなったのです。但しこの簡便な方法だけで歯医者さんに通う必要がないわけではありません。

虫歯とともに大切なのは歯周病を予防することです。

歯周病は歯を失うもう一つの原因です し、近年内科的疾患に関連していることがわかってきたのです。この歯周病を予防するためには歯の周りにまとわりつく歯垢を除去する必要があります。それには歯磨きだけでは不十分で歯医者さんで除去してもらう必要があるのです。

このように歯医者さんにかかるのは治療のためだけではなく、健康な歯のメンテナンスに通うということなのです。床屋や美容室に通うのと同じ感覚で良いと思います。口中が爽やかになりますよ。

私は別に歯医者さんの宣伝をしているわけではないのですが、日本一健康なまちづくりには日本一健康な歯を並行して作っていく必要があると思っています。

（※寄稿者からの原稿の状態で掲載しています。）

俳句

ぶなの里俳句会

夕蛍拝みあはせの手にとぼる　喜美子

桑の実の濃ゆきむらさき手のひらに　ひろ子

大夕立ち一目散に部活の子　孝子

対向車のダンプの圧や夏旺ん　悦子

草分けて草分けて摘む夏蕨　米子

朝腕ぎの豌豆（えんどう）の莢（さや）ぴちぴちと　奉子

街路樹の葉裏まぶしき夕立晴　かほる

nformation

暮らしのお知らせ

町のホームページにて「広報くろまつない」を御覧になれます。
http://www.kuromatsunai.com/
また、下記のサイトでも「広報くろまつない」を掲載中！
・Hokkaido ebooks
https://www.hokkaido-ebooks.jp/
・マチイロ
https://machiiro.town/lp/hokkaido_kuromatsunai

お知らせ

マイナンバーカード作りませんか

マイナンバーカードは申請すれば誰でも無料で作成することができます。

申請は、郵送のほか自宅のパソコンやスマートフォンからも簡単に手続きが可能です。

申請を行うと交付通知書（葉書）が御自宅に届きますので、町住民課でマイナンバーカードをお受け取りください。

【こんな時に使えます！】
・個人番号の証明書として
・公的な身分証明書として
・e-Taxなどの電子申請　など

■お問合せ先
マイナンバー総合フリーダイヤル
TEL０１２０－９５－０１７８
町住民課【担当　黒滝・田中】
TEL７２－３３１２

年金生活者支援給付金制度

令和元年10月1日から、収入が一定基準以下の年金受給者の生活を支援するため、年金生活者支援給付金が年金に上乗せして支給されます。

受け取りには請求書の提出が必要で、御案内や事務手続きは日本年金機構が実施します。

▼対象者
次の要件を全て満たしている方
【老齢基礎年金受給者の場合】
・65歳以上
・世帯全員の市町村民税が非課税
・年金収入額とその他所得額の合計が88万円以下
【障害・遺族基礎年金受給者の場合】
・前年の所得額が約４６２万円以下

▼請求手続き
【平成31年４月１日以前から年金を受給している方】
・対象となる方には、日本年金機構から請求手続きの案内が９月上旬頃送付されます。
【平成31年４月２日以降に年金を受給し始めた方】
・年金の請求手続きと併せて年金事務所又は町住民課で手続きをしてください。

■お問合せ先
小樽年金事務所
TEL０１３４－２３－４２３６
町住民課【担当　黒滝・田中】
TEL７２－３３１２

特定健診を受けませんか

30歳から74歳までの黒松内町国民健康保険加入者の方は、ブナの森診療所で、無料の特定健診を受けることができます。

受診を希望される方は、ブナの森診療所へ申込ください。

なお、保健福祉センターで実施された集団健診で特定健診を受けた方は受診できません。

■お問合せ・申込先
くろまつない　ブナの森診療所
TEL７２－３３０１

社会保険等に加入された方へ

今まで国民健康保険へ加入されていた方が就職等の理由により社会保険等へ加入された場合、国民健康保険喪失の手続きが必要となりますので、住民課窓口へお越しください。

▼届出に必要なもの
（国保保険証・新たに発行された社会保険等の保険証）

■お問合せ先
町住民課【担当　寺尾・岡部】
TEL７２－３３１２

里親制度について

様々な事情により家庭で暮らせない子供たちを、自分の家庭に迎え入れて育てる方を「里親」といいます。

家庭的環境が子供の養育に望ましいと言われており、ここ十数年で里親に委託されている子供の数は増加しています。

「里親」は特別な方しかなれないわけでなく、実際にはどこにでもいる普通の家庭のお父さん、お母さんです。

ぜひ、里親として登録され、家庭で生活できない子供たちの養育を担ってください。

■お問合せ先
北海道中央児童相談所【担当　古川】
TEL０１１－６３１－０３０１

自転車用ヘルメット購入費の補助

町では自転車用ヘルメットの着用の推進により、子供たちの安全を守ることを目的に、18歳までの幼児・児童・生徒が使用する自転車用ヘルメット購入費の一部を補助しています。

▼対象者
町内在住の18歳以下の児童等の保護者

▼補助額
購入費用（税込）の半額（上限二千円）

▼必要なもの
・補助金交付申請書兼請求書
・領収書原本（レシート不可・宛名が申請者（保護者）であるもの）
・SGマーク等が確認できるもの（ヘルメット現物または写真）
・振込口座が確認できるもの
・印鑑（シャチハタ不可）

■お問合せ先・申込先
町総務課【担当　中島・木村】
TEL７２－３３１１

募集

自衛官募集

防衛省では、自衛官採用試験を次のとおり実施します。

募集項目		受験資格	受付期間	試験期間
自衛官候補生（第３回）	男子	18歳以上33歳未満の者	7月8日～9月12日	9月25日～9月30日
	女子			9月27日・28日
一般曹候補生（第２回）			7月1日～9月6日	1次試験 9月20日～9月22日

■お問合せ先
自衛隊札幌地方協力本部
倶知安地域事務所
TEL０１３６－２３－３５４０
自衛官募集相談員　菅原正久
TEL７２－３５４７
町総務課【担当　中島】
TEL７２－３３１１

ぶなの里俳句会多作品入選
第46回後志俳句大会

本町では初めての開催となる後志管内文化団体連絡協議会主催の後志俳句大会が、7月6日町環境学習センターで開催され、管内から俳句愛好者40人が集まりました。

本町からは本誌でおなじみのぶなの里俳句会の会員7人が参加。

大会では、参加者が事前に「春」をテーマに、1人2句ずつ投句した「兼題句」の成績発表が行われました。

参加者からの投票で優秀作品が選ばれる兼題投句作品の部では、茂尾喜美子さんが見事1位に輝きました。

他にも各会員も佳作等に入選し、日頃の活動の成果が高く評価されました。

入選作品

兼題一位
春泥をまたぐに夫の手を借りぬ　茂尾　喜美子

特選選者　成田　智世子選　特選（天）
百幹に百の鳥の巣ブナの森　茂尾　喜美子

特選選者　成田　智世子選　兼題秀逸
特選選者　松本　きよし選　兼題秀逸
目刺焼く茶の間奥の間煙らせて　菅原　孝子

特選選者　伊藤　玉枝選　兼題秀逸
ぶらんこを漕ぐ子の靴のひるがへり　増田　奉子

片栗の花に日差しの惜しみなき　菅原　孝子

■その他、会員全員が各選者の佳作に入選しました。

戸籍の窓口（敬称略）

町の人口と世帯

7月末日現在（住民基本台帳）

2,804人（−54）

- 男　1,328人（−25）
- 女　1,476人（−31）
- 世帯　1,503世帯（−16）

※（　）内の数字は前年同月との比較

こんにちはよろしくね

居川隼大（いかわしゅんた）　北作開

（父　孝志・母　恵美）

はしっこ同盟活動報告

「ビーフ天国まるっと黒松内2019」の本祭に、長万部町と豊浦町が合同ブースを設けて物販を行いました。

長万部町からはジェラートや「大虎飯店」の焼売が、豊浦町からは平飼いの卵や今年7月にオープンしたカフェ「iyutari」のマフィンなどがそれぞれ販売されました。

前夜祭では、はしっこ同盟のロゴマークの入った半被を羽織り、両町のスタッフが黒松内音頭パレードにも参加しました。

今回のビーフ天国で各町のメインイベントは終了しましたが、今後も3町合同で道外での物販や3町の観光地を巡るツアーの開催などを予定しています。

▲大虎飯店の「毛ガニ爆弾」

▲iyutariのマフィン

▲本祭での物販の様子

▲前夜祭の黒松内音頭にも参加

近隣町村情報

パークゴルフ大会開催

豊浦町で第3回パークゴルフ大会が次のとおり開催されます。皆さんの参加をお待ちしています。

▼日時　9月24日（火）8時30分〜

▼場所　豊浦渚パークゴルフ場

▼参加費　一人1,500円

▼申込期限　9月10日（火）まで

※定員120人になり次第締切

■お問合せ先・申込先

豊浦渚パークゴルフ場

TEL 0142-83-1189

平和祈念館

平和祈念館は、昭和58年の終戦記念日に展示品の数々が町に寄贈され、平和を祈念して開館しました。

反戦と平和を願う心が生んだ美術工芸品を展示し、前庭には世界的彫刻家の本郷新の作品群が並んでいますので、是非見学にお越しください。

▼場所　長万部町字長万部413番地12

▼時間　午前10時〜午後4時

▼休館日　月曜、祝日の翌日、年末年始

■お問合せ先

長万部町教育委員会社会教育係

TEL 01377-2-2748

広報　くろまつない

2019(令和元年).8.22 No.496

発　行　黒松内町

〒048-0192　寿都郡黒松内町字黒松内302番地1

TEL 0136-72-3311(代表)　FAX 0136-72-3316

E-mail　buna@town.kuromatsunai.hokkaido.jp

編　集　黒松内町企画環境課

TEL 0136-72-3376(ダイヤルイン)

印　刷　㈱総北海

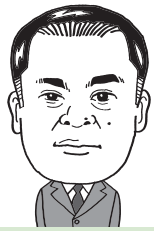
●広報くろまつないNo.497発行予定日は9月19日(木)です。

町政に対する御意見・御要望等がある方は「私の思い」に内容を記載の上、ファックスにて送信してください。

「私の思い」は、記入用紙を役場庁舎に備えており、年2回広報折込でも配布しています。

また、町ホームページから直接投稿することもできます。

(http://www.kuromatsunai.com)



ファックス番号　72-3316（役場）

広報くろまつないは、震災復興型カーボンオフセット用紙を使用し、CO_2削減事業並びに東北経済復興を応援しています。また、環境に優しい道産間伐材を配合した用紙を使用しています。